

## 令和4年度 青森市自動車運送事業運営審議会 会議概要

【日 時】令和5年1月31日（火）13:30～14:35

【場 所】青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3階 大会議室

【出席者】井上隆会長、柳谷章二副会長、小豆畑緑委員、軽米智雅子委員、木村常子委員、清水明彦委員、千葉敏彦委員、中村美津緒委員

【事務局】鈴木公営企業管理者、佐々木部長、西村次長、堀川課長、嘉瀬主幹、岸主幹、渡邊主幹、三浦主幹、山口主幹、亀田営業所長

### 【会議次第】

- 1 委嘱状交付式  
（1）公営企業管理者企業局長挨拶
- 2 組織会  
（1）委員紹介  
（2）委員挨拶
- 3 会議  
（1）経営状況について

---

### 会議概要

#### （1）経営状況について

資料に基づき事務局より説明。

#### 《質疑応答等》

##### （会長）

- ・一昨年3月の経営戦略を策定した時には、コロナが始まっていて不安を持ちながら策定したというのが本音であるが、概ね経営戦略で立てた計画どおりに進んでいるという印象を持った。
- ・学生に使いやすいバス路線になってくれればいいと思っていたが、学期定期が導入された。全国的には大分前から導入されているところがあり、利用が増えるのではと思う。
- ・デジタル活用した仕組みが多方面で導入されており、これも予定どおりと考えていいと思う。

##### （委員）

先日、青森駅、新青森駅のバスターミナルで市営バスが雪の影響で走行に支障をきたす状態となっていた。たくさんの方がバスを待っている中で、バスがなかなか進まない状況があったので、市民の足になっているからこそ、除排雪に力を注ぐよう強く言ってもいいと感じた。

(事務局)

急な降雪による除排雪は、今後も管理者である都市整備部と連携を取りながら、努めて参りたい。

(委員)

雪の影響で電車が動かない時には、市営バスが協力してもう少し便を増やせないか。

(事務局)

降雪による一時的な増便について、急な対応は困難だが、市営バスを利用いただけるよう、そうしたご意見も踏まえて検討して参りたい。

(委員)

吹雪の中、車いすの方がバス停でバスを待っているのを見た。その場所は、吹雪の際は真っ白で前が見えない状態となるので、何とかならないものかと強く感じている。車いすの方のバス利用は予約制か。

(事務局)

予約なく利用できる。

(委員)

AOPASSについて何%の乗降者が利用しているか。

(事務局)

現在は、概ね一日の利用者数の約半数以上が利用している。

(委員)

AOPASSやバスロケーションシステムの導入により、運行状況をデータ化して検討をする仕組みをつくり、定時運行の精度を上げ、市民のサービスの向上に役立てて欲しい。

(事務局)

AOPASSやバスロケーションシステムの導入により、新たなデータ活用が可能となっている。その膨大なデータの具体的な活用については、今後検討を進め取り組んで参りたい。

( 委員 )

女性ドライバーが就労して活躍できるよう取り組んでいただきたい。

(事務局)

現在、交通部では2名の方が女性ドライバーとして活躍している。女性ドライバーの方も安心して仕事ができるように休憩所の整備等の環境整備に努めており、引き続き、ご指摘の視点も含めて検討して参りたい。

( 委員 )

観光面でバス停を新たに申請することは可能か。例えば、富田地区に最近非常に観光客が訪れる店舗があるが、付近にバス停がなく、立ち寄る人が非常に不便だと聞いている。都市整備部と一緒に観光の路線を検討するのもいいのではないか。

( 委員 )

青森市の観光バス、ルートバスのねぶたん号は、都市整備部の方で所管しており、観光施設がどういうところに何ができているのか配慮しながら、ルートの検討等も行っている。バス停については、橋、交差点等の影響で近くに設置できない場所もあるので、いただいたご意見も含めて検討して参りたい。

( 委員 )

除雪が十分ではなく乗降が非常に不便なバス停もあるが、どのように対応しているのか。

(事務局)

バス停の除雪は、それぞれの道路管理者へ毎年要望しているところであり、急な降雪で道路管理者が対応できない場合は、緊急対応として交通部が直接出向いて対応している。引き続き、道路管理者、担当部局と連携をとりながら、バス停を利用される方が安心してご利用できる環境を作って参りたい。

( 委員 )

西口駅前広場整備に伴う運行について、新城方面に沖館や油川から来る人は、接続がよければ、すごくいいと思う。西口駅前広場への運行は一日何本くらいを予定しているか。

(事務局)

便数については、現在精査中であるが、西口駅前広場へのバスの乗り入れ初年度は、どれだけの需要、若しくは利便性の状況があるのかということ踏まえ、実験運行にしたい

と考えており、その需要を踏まえた検討になるかと思う。

( 委員 )

- ・バスの乗務員の立場から、定時定速の関係は、バス運行をする上で非常に大事なことで、今のバス停の時間は、これまで積み上げてきた実際バスを走らせた結果に基づき設定しており、以前から比べるとかなり定時定速で走られていると思う。冬は積雪による道路状況の関係があるので、どうしても遅れるが、その他の遅れる理由として、利用する方の乗降にかかる所要時間もある。
- ・冬場のバス停の雪対策は、乗務員から営業所に積雪で乗り降りが大変な箇所を報告し、交通部の職員が除雪等の対応をしているが、今日、除排雪しても晩に雪が降り、明日また同じ状況になっている場合もある。また、市役所前、NTT 東日本前、文化会館前等には、バス停の待合所にスコップ等を設置しており、利用者がかたづけに協力していただいていることもある。
- ・車いすの方のバス利用は予約なく利用できるが、バスが車いすを積めるのは1～2台であるため、事前に営業所へ連絡して確認していただくとスムーズにご利用いただけると思う。